

【NEWS RELEASE】

2020年3月19日

SMBC日興証券株式会社

ブロックチェーン技術を活用した次世代アセットマネジメント事業を行う新会社で協業

SMBC日興証券株式会社は、この度、三井物産株式会社(代表取締役社長:安永 竜夫、本社:東京都千代田区)及びその金融関連子会社、株式会社LayerX(CEO:福島 良典、本社所在地:東京都中央区)、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、本社所在地:東京都千代田区)とともに、ブロックチェーン技術を活用した次世代アセットマネジメント事業分野での協業を開始し、合同で新会社を設立することになりましたのでお知らせいたします。

1. 協業の背景・目的

1,800兆円超に上る日本の個人金融資産の半分以上を現預金が占め、欧米諸国と比較しても、資産運用に供されている割合は低位に留まり、日本国民の資産形成が重要な課題となっています。そういった環境の中で、高度な専門性をもって証券化及び資産運用機能を担うアセットマネージャー(投資運用業者)は、我が国の資本市場の活性化や国民の安定的な資産形成を実現する上で極めて重要となっております。

一方、不動産・インフラを始めとした実物資産の証券化商品の投資環境においては、一部の限られた資産に対して、限られた投資家のみがアクセスできているケースも見られます。これは、法制度のみならず、証券化及び運用期間中の管理プロセス全体に複数企業が絡み、かつ非デジタルのままになっていることで高コスト体質となっていることが要因の一つであり、大きなイノベーションの余地が残されております。

この度の協業では、ブロックチェーン技術を活用した発行体による効率的な資金調達も視野に入れながら、アセットマネジメント機能全体のデジタルトランスフォーメーションにより「①取引・管理・執行コストの削減」「②運用会社の透明性向上」「③ファンド設計の規格化、小口化、適切な流動性の付与」「④従来ではコスト面等で実現が難しかった資産の証券化」等を実現し、より多くの優良な実物資産の証券化商品を、より投資家の利益に資する形でお届けすることを目指します。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future SMBC日興証券

2. 協業の内容

今回の協業において、各社は以下の実施に関する基本合意をいたしました。

- (1) ブロックチェーン技術を活用した次世代アセットマネジメント会社の設立・運営
- (2) 上記に係るシステム開発(本システムは既に実証版の開発が完了)
- (3) 実証ファンドの組成検討

3. 設立会社の概要

名称	三井物産デジタル・アセットマネジメント株式会社(仮)
所在地	東京都中央区(予定)
代表者	未定(三井物産から1名を予定)
設立予定時期	2020年4月
事業概要	ブロックチェーン技術を活用した、不動産・インフラを中心とする実物資産のアセットマネジメント事業
資本金	未定(現時点では設立時5億円を予定)
出資比率	三井物産:54%、LayerX:36%、SMBC日興証券:5%、三井住友信託銀行:5%

4. 今後の見通し

規制当局との対話を重ねながら、新会社が行う事業のオペレーション上の課題・技術的改善点の検証を目的とした実証ファンドの組成を計画しております。

SMBC日興証券の金融商品取引・販売のノウハウと、三井物産グループの実物資産の選定力及び運用力、LayerXのブロックチェーンを含む総合的な技術力、三井住友信託銀行の金融領域における知見を掛け合わせることで、次世代のアセットマネジメント事業を共創してまいります。

以上